



しょうそう 【正倉】

しょうそう なが しょうそういんほうもつ まも
正倉は、長いあいだ正倉院宝物を守つてきた倉庫です。現在、国宝に指定されています。

みやこ なら なら じだい なか
都が奈良におかれた奈良時代の中ごろ、
しょうむてんのう どうだいじ ひら だいぶつ つく
聖武天皇が東大寺を開き、大仏を造りました。
しょうそう どうだいじ くら た
正倉は、はじめは東大寺の倉として建てられ、
しょうそういん ほうもつ しょうむてんのう
正倉院の宝物も、もともと聖武天皇ゆかりの品や、
しょうそう とし た
東大寺で使われた品でした。正倉がこの年に建てられた、
せいかく じき しょうむてんのう
という正確な時期はわかりませんが、聖武天皇が
な せいれき ねん ちか ころ かんが
亡くなった西暦756年に近い頃と考え
てよいでしょう。大仏開眼の儀式が盛大に
おこな ころ
行われてから、あまりたっていない頃です。

しょうそう すがた しゃしん し
正倉の姿は、写真でよく知られていますが、
こんかい こうかい ちが
今回の公開では、それとは違った迫力ある姿が
はくりよく すがた かん
感じられるでしょう。でも、ふる たてもの て
古い建物です。手でさわっただけでも、建物
いた
は傷みますので、さわらないようにしましょう。



↑ すやね た じょうきょう じょうきょう
素屋根を建てている状況

(2) 工事について

こんかい こうじ へいせい ねん がつ へいせい
今回の工事は平成23年8月～平成26年10月にかけて行い、約37,000枚もの瓦を葺替えます。

ねが
お願い

- 触れないで
- 敷地内での飲食はやめて
- 段差に気をつけて

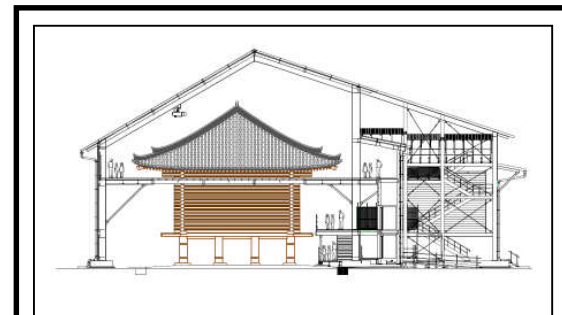
しょうそういんしょうそうせいびこうじ 正倉院正倉整備工事 だい かいげんぼこうかい 第1回現場公開

かいさいび へいせい ねん がつ にち にち
開催日 平成24年3月16日～18日

しゅさいしゃ くないちょうきょうとじむしょ
主催者 宮内庁京都事務所

くないちょうしょうそういんじむしょ
宮内庁正倉院事務所

<http://www.kunaicho.go.jp/>

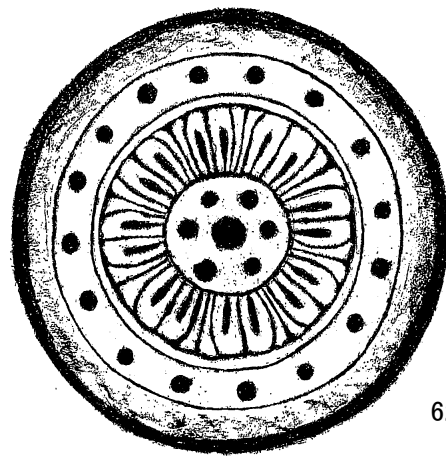


↑ すやね がいようず
素屋根の概要図

(1) 素屋根について

- すやね
① 素屋根とは
こうじ とき しょうそう あめ まも
工事をする時に正倉を雨から守るため、その外側におおいかけた建物を
いいます。
すやね がいよう
② 素屋根の概要
おお 大きさ やく 約35m×約48m
たか 高さ 19m

- ① 天平時代の丸瓦の文様図
- ② 天平時代の平瓦の文様図
- ③ 瓦屋根
- ④ 屋根裏を見上げたようす
- ⑤ 宝物を保管していた箱（唐櫃）
- ⑥ 正倉内部のようす
- ⑦ 校木断面の拡大写真
- ⑧ 南倉角のようす



6235G
①



6732F
②

しょうらいんしゅうへん しゅつど かわら た
 ※正倉院周辺から出土している瓦のなかで、建て
 られた年代に近く、数多く採集された瓦の文様図

けんかくめんのない
【見学案内】

けんがく かい くら ささ ほん つかばしら み ゆかした たか やく しぜんせき そせき
 見学コース1階では、倉を支える40本の束柱が見えます。この床下の高さが約2.7m。自然石の礎石
 の上に立っています。

かい あ どりつ いろぐち くら なら しょうそう こうぞう きた しょうめん む
 2階上がると、独立した入口をもつ三つの倉が並ぶ正倉の構造がよくわかります。北（正面向か
 った右）から順に、北倉・中倉・南倉という名前がついていますが、三角の校木を組み上げた両端
 の倉（校倉造り）と、あいだに挟まれた中倉の作り方の違いに気がつきませんでしたか？そう、中倉は校木
 を使わず、板で壁を造っています（板倉造り）。材木は檜。建物正面の長さ（間口）は約33mです。
 北倉では、2階建ての内部のようすが見られます。ガラスの入った展示ケースは、明治時代に造られ
 たものです。

かい しょうそう やね み した やね うえ たか やく かわら
 3階では、正倉の屋根が見えます。下から屋根の上までの高さは約14mになります。たくさんの瓦
 がありますね。瓦葺きの姿をこんな近くで見たことがありましたか？ いったん瓦は取り替えて、
 たてもの かわら ぶ すがた ちか み かわら と か
 建物がながもちするように、というのが100年ぶりに工事をおこなう大きな目的です。修理のために、
 この後ですべての瓦を取り外して検査をするのです。周囲の景色も、この機会で見なければ見られない
 絶景です。帰り道は、順路を守り、足元に気をつけて降りていって下さい。



⑧



③



⑦



⑥



⑤



④

(参考) パンフレットの折り方について

- A4版短辺綴じで両面印刷した紙を、両脇の余白をハサミで切り、谷折りを3回すると完成です。

②端を中へ折り込む

谷折りする箇所, 3カ所線

①
ハサミで余白を切る

①天平時代の丸瓦の文様図
②天平時代の平瓦の文様図
③瓦屋根
④屋根裏を見上げたようす
⑤宝物を保管していた箱 (唐櫃)
⑥正倉内部のようす
⑦校木断面の拡大写真
⑧雨倉角のようす

※正倉院周辺から出土している瓦のなかで、建てられた年代に近く、数多く採集された瓦の文様図

6235G ①

6732F ②

【見学案内】
見学コース1階では、倉を支える40本の東柱が見えます。この床下の高さが約2.7m。自然石の礎石の上に立っています。
2階に上がると、独立した入口をもつ三つの倉が並ぶ正倉の構造がよくわかります。北（正面向かって右）から順に、北倉・中倉・南倉という名前がついていますが、三角の校木を組み上げた両端の倉（校倉造り）と、あいだに挟まれた中倉の作り方の違いに気がつきませんか？そう、中倉は校木を使わず、板で壁を造っています（板倉造り）。材木は檜。建物正面の長さ（間口）は約33mです。北倉では、2階建ての内部のようすが見られます。ガラスの入った展示ケースは、明治時代に造られたものです。
3階では、正倉の屋根が見えます。下から屋根の上までの高さは約14mになります。たくさんの瓦がありますね。瓦葺きの姿をこんな近くで見たことがありますか？いたんだ瓦は取り替えて、建物がながもちするように、というのが100年ぶりに工事をおこなう大きな目的です。修理のために、この後ですべての瓦を取り外して検査をします。周囲の景色も、この機会で見れば見られない絶景です。崩れ道は、順路を守り、足元に気をつけて降りていってください。

完成

しょういんしょうせいひこうじ
正倉院正倉整備工事
第1回現場公開
開催日 平成24年3月16日～18日
主催者 宮内庁京都事務所
宮内庁正倉院事務所
<http://www.kunaicho.go.jp/>